

九州大学病院きらめき プロジェクトについて



学校法人福岡学園理事長
九州大学名誉教授
水田祥代

November 25, 2015

1

平成19年度 「地域医療等社会的ニーズ に対応した質の高い医療人 養成推進プログラム

九州大学病院のテーマ

**女性医療人きらめきプロ
ジェクト—魅力ある職場での
生涯現役をめざして—**

kirameki project kickoff meeting

* 女性医療人きらめきプロジェクト
キックオフに寄せて *

九州大学病院および医学部は、平成19年度文部科学省の大学改革推進事業に採択され、今年9月から女性時代きらめきプロジェクトに立ち上げました。このプロジェクトは女性医療人（女性医師、女性看護師など）が女性のライフステージに応じて働き続けることができる、魅力ある職場環境を創ることを目指しています。この活動の中心として学内外に開かれた「女性医療人教育研究実践センター」を設立しました。この施設の大きな柱として以下のことを行います。

(1)女性医療人の実態調査を行い、どのような問題があるかを明らかにします。
(2)多くの女性医療人によるこのプロジェクトに登録してもらい、ネットワークを構築します。
(3)登録者はネットワークを介して、継続的学習・研修を可能にするe-ラーニングによる教育コンテンツや、情報交換の場を提供します。
(4)ライフステージに応じた就業や研究を継続できるよう、「女性医療人ステップアップ外来」を設置し、各診療科の非常勤女性医師や看護師の能力を磨くワークショップやフレックス制で配置し、復職へのステップアップをします。
(5)医学部医学科、保健医学科の学生の皆さんに、女性がその能力を十分に発揮できるチャンスを得ることの社会的意義を理解し、お互いが交流できる場を設けます。
(6)このプロジェクトはまだ、始まったばかりですが、九州大学病院が患者さんだけでなく、働く人々からも満足される医療院となる変革の一歩として活動を展開します。

このプロジェクトはまだ、始まったばかりですが、九州大学病院が患者さんだけでなく、働く人々からも満足される医療院となる変革の一歩として活動を展開します。

本プロジェクト関係者一同、心を合わせ取り組んでゆく所存ですので、皆様からのご支援をよろしくお願いいたします。

記念講演 「日本の医療をよくするための女性医療人の役割
—女性医療人がきらめくために—」
古川 貞二郎 (元内閣官房副長官)

10年を跨ぎたて日本の医療界の半数が女性医師で占められるといわれると共に、医療活動の大きな二つの領域、「医療」と「看護」が女性の力に依存する時代が来ようとしています。新しい時代に向けてより良い医療を磨き上げたために女性医療人が十分な能力を発揮できるような体制や、働きやすい環境を創ってゆくことが医療界にはじめ、広く社会に磨かれた大切なる課題です。私は、この女性医療人きらめきプロジェクトに大きな夢と期待を寄せています。

多くの女性医療の方々に、本プロジェクトへの登録を募集しています。
女性医療人が手をつなぐことによって、より良い医療環境を創ってゆきましょう。
詳細は下記の女性医療人教育研究実践センター事務局までお尋ね下さい。

問い合わせ先 九州大学病院 女性医療人教育研究実践センター事務局 山下まで
chishiki@shs.kyushu-u.ac.jp



九州大学病院の現状

非常勤(研修医)

男性33人
51.6%

女性31人
48.4%

64人

非常勤(医員)

男性187人
67.3%

女性91人
32.7%

278人

常勤(助教以上)

男性267人
93.4%

19
6.6%

286人 [教授24 (1), 准教授27 (0), 講師46 (2), 助教189 (16)]



平成26年9月現在

3

九州大学病院での取り組み

女性医療人きらめきプロジェクト (H19-21年、文科省、外部資金)

女性医療人ステップアップ外来医師18人
(H19-21)

看護師4人

定員外で増加

フルタイム職への復帰:

公立病院での小児科部長 1人
9-5時勤務の乳腺外科チーフ 1人
大学病院歯学部 医員 2人
看護学校教員 1人

専門医取得:歯科医師 2人
博士号取得:皮膚科医 1人

**外来診療現場の活性化・常勤医師の業務軽減
病院収入の増加**

きらめきプロジェクトキャリア支援センター 設立(自己資金, H22年度~)

「九州大学病院 きらめきプロジェクト」を展開

4



九州大学病院きらめきプロジェクト

目的

ライフステージにより休職や離職を余儀なくされる
女性医師のキャリアの継続、休職後の復帰支援



- ・介護・自身の病気のために離職を余儀なくされる
**男性も含めた医師全体のキャリアの継続、
休職後の復帰支援**
- ・女性であることで生じる不利益・差別の解消
- ・全医療人の働きやすい環境整備

5



取組の概念

トップの意識改革

女性医師

- ・就業継続支援→ステップアップ外来
　短時間勤務、フレックス
- ・復職支援→復職のための研修
　e-learning教材の利用
- ・育児支援→院内保育園の開設
　病後児保育、24時間保育
- ・ネットワークの構築:育児等と関係なく

全医療人

- ・医師の働き方に対する意識変革
- ・女性医師支援に対する理解
→きらめき講演会、研修会などによる
　意識の啓発

学生

- ・国税によって教育を受けていることの認識と責任:就業継続の責務
- ・女性医師としてのロールモデル、将来設計→学生講演会・交流会
- ・ジェンダーや性差に対する理解→ジェンダー学や性差医学の講義

6



具体的な取組概要

- **女性医療人の実態調査**

女性医療人がどのような問題を抱えているか調査し、プロジェクトに反映

- **人材登録、ネットワーク構築：埋もれた人材の発掘**

ホームページからの登録、福岡県医師会や他大学、基幹病院との連携

- **ライフステージに応じた教育研修プログラムの提供**

e-ラーニングによる配信(自宅学習)、講演会、研究会等の開催

- **ジェンダー教育・ミッショントリニティ教育・医療人の意識改革**

医学部、歯学部学生に対してこれからの医療人としての意識改革

- **女性医療人ステップアップ外来の設置 + 女性外来**

将来復職を考えている女性医療人のキャリア継続のためのシステム構築

及び女性外来とのドッキング

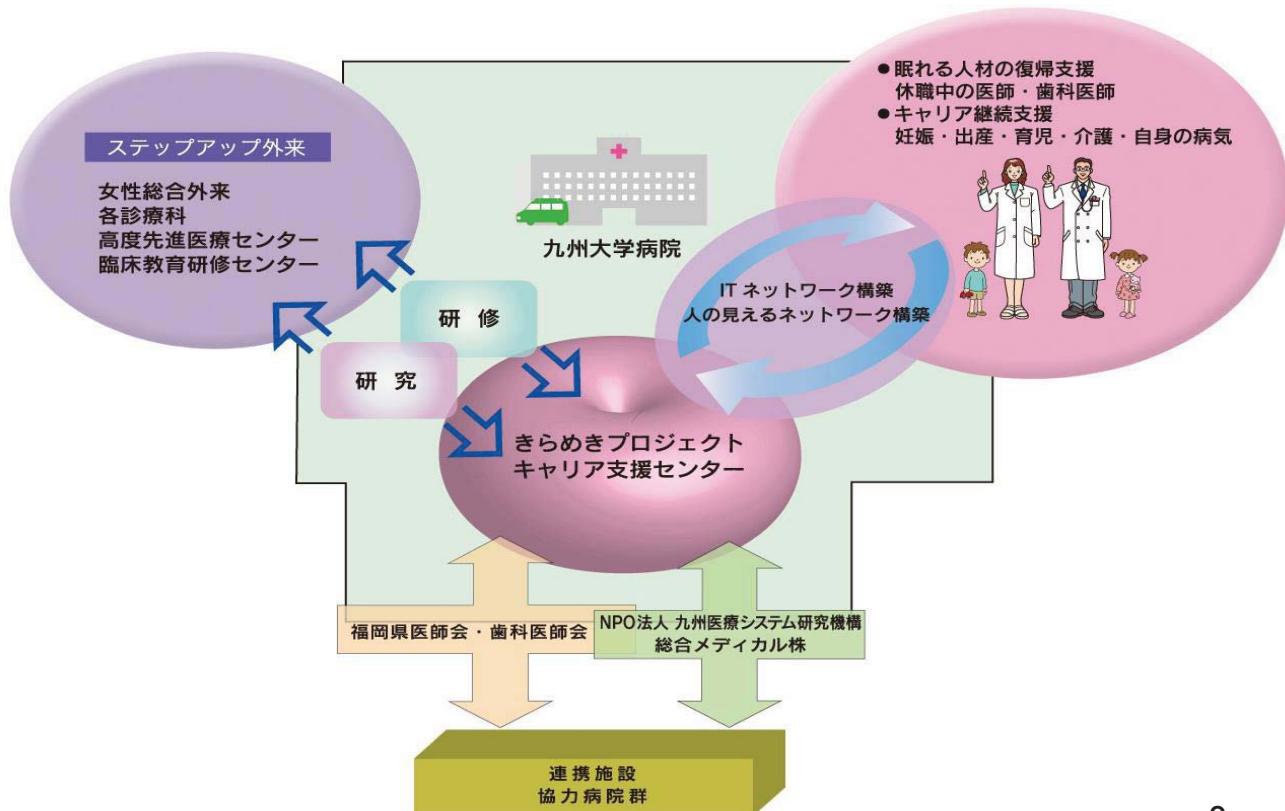
7



九州大学

九州大学病院きらめきプロジェクト

取組概要



8



26年度のスタッフ発表会



自身の研究に限らず家庭生活の変化など
様々な発表がなされた。

11



就業継続支援

やめない支援・働く支援・戻れる支援

出産育児・介護・自身の病気により離職を余儀なくされる**男性医療人**
も含めた医師や歯科医師のキャリアの継続、休職後の復帰支援

医局も歓迎、本人も後ろめたくない

- ・医局人事と外枠の就業、病院予算による雇用
- ・短時間勤務による外来診療や検査業務、研究の継続

ステップアップ外来医師 (短時間勤務、非常勤医師)			
	医科	歯科	計
19年度:	2	0	2
20年度:	8	8	16
21年度:	8	7	15
22年度:	8	4	12
23年度:	10	5	15
24年度:	13	7	20
25年度:	11	4	15
26年度:	18	8	26
27年度:	14	8	22
延べ人数	92	51	143

12

医科の所属	
皮膚科	11
眼科	7
内科	6
小児科, 心療内科	
産婦人科	各 3
循環器内科, SASセンター	
呼吸器科, 乳腺外科, 麻酔科	
耳鼻咽喉科, 消化器外科 各 2	
神経内科, がんセンター 各 1	
計	49

きらめきOG 35人の現在	
フルタイム職へ復帰	: 19
九州大学病院	5
公立病院	7
私立病院	2
個人の医院	5
非常勤勤務:	9
海外:	3
産休育休中:	4
専門医などの取得	9
(きらめき後の取得)	

13

歯科の所属(H19~現在まで)

矯正歯科	9
全身管理歯科	5
義歯補綴科	4
顔面口腔外科	3
歯周病科	3
顎口腔外科	3
咬合補綴科	1
歯内治療科	1
合計	29

きらめきOG 19人の現在

フルタイムへの復帰	7
九州大学病院	1
公立病院	1
私立病院	1
個人の医院	4
非常勤勤務	8
海外	1
産休・育休	3
専門医などの取得 (きらめき後の取得)	4

14